

秋 歯 技

発行
No.68
2018年2月14日

一般社団法人
秋 田 県
歯 科 技 工 士 会
広 報 部

年頭のごあいさつ

会長 今野

悟



新年あけましておめでとうございます。

日頃皆様には
会務にご協力い

ただきまして厚く御礼申し上げます。

ここ数年で、歯科業界のデジタル化が目覚ましい発展を遂げています。技工に関しても、2014年4月から上下小白歯のCAD/CAM冠が保険収載され、その後2016年4月からは、金属アレルギーを有する患者に大白歯が保険適用になり、昨年12月からは条件付きで下顎第一大臼歯が算定できるようになりました。世の中ほとんどデジタル化が進み、高精度の口腔内スキャナーの小型化な

ど、機械・材料を開発する企業努力のスピードにアンテナをはっていなければ、取り残されてしまいうです。

その目覚ましい発展とはうららに、昨年は技工士学校4校が学生募集を停止、閉校を決定しました。隣の岩手県でも岩手医科大学医療専門学校歯科技工士学科が50年の歴史を閉じることになり、本県にも少なからず影響が出てくるものと思われま

本県の就業技工士数は430人で、統計的にみるとまだ不足している数字ではありませんが、問題なのは年齢階級別にみた数字です。2014年のデータですが、25歳未満の人数が全県で6名、25歳29歳が24名、だそうです。誰もが

将来技工士不足になると思わざるを得ない数字です。何らかの策を講じていかなければと思っ

現在、技工士会として初めて厚労省からの直接の委託事業である「歯科補綴物製作過程等の情報提供推進事業」を試験的に実施しています。現状では、技工物がどこの歯科技工所で誰が製作したのか等の情報を患者自身が知ることはできません。そのような情報を提供することの事業の目的は、補綴物等の製作過程等に関する情報を提供すると共に、歯科医療関係者向けの研修会を開催し、国民にとって安心・安全な補綴物等の普及・推進を図ることです。

安心・安全を担保する意味で、日本歯科技工士会では、無届の歯科技工所における歯科技工の防止についての取り組みを行っています。無届の歯科技工所は、管理体制が不十分であったり、構造設備基準を満たしていなかったりする可能性ががあります。このことは、昨年9月に厚生労働省医政局長の

通知として、日本歯科医師会会長、都道府県知事等に送られてい

保健所より届出一覧を取り寄せ調査している所であります。

昨年、地域医療基盤開発推進研究事業として、厚労省の補助金で秋田県歯科医師会の先生方を対象にアンケート調査が行われました。その調査において、歯科技工物を県内の技工所に発注している歯科医院は83.9%でした。この数字からうかがえるように、県内の先生方は県内の技工所に大半の技工物を発注してくださっています。それは先生方が技工士の顔が見える環境を望んでいるからだと思われま

この事業は、先生や患者さんとの信頼関係を深めるものであり、我々も今以上に責任の重みを感じて仕事に取り組まなければならぬと思います。まだ数県で試験的に実施している段階ですので、その成果を注視しているところで

本年が皆さまにとりまして輝かしい一年でありますようご祈念申し上げます

生涯研修報告

公開講座「女性が歯科技工士を

続けるために」

平成29年10月15日(日) 秋田市文化会館第5会議室にて、東京都歯科技工士会藤井未来先生をお招きし、「女性が歯科技工士を続けるために」女性技工士と共に働くみなさんへ」の演題で生涯研修会《公開講座》が開催されました。

参加者21名のうち女性が8名と、関心の高さがうかがえました。講演では、女性の視点からの働き方について話され、会社の上司や同僚とのコミュニケーションの必要性、時間を有効活用しスキルアップを図るなど、自ら行動し発信することの重要性を説かれ、「続け方」「学び方」「育て方」「雇用の仕方」等に言及されました。女性歯科技工士の活躍推進については、日本歯科技工士会でもセミナーを各地で開催し、動き始め

たようです。女性歯科技工士にとってより良い就労環境の整備が一層必要であり、今後のムーブメントに期待したいと思います。柔軟な姿勢で女性や若い世代の意見に耳を傾ける歯科技工士会でありたいと思います。

(富士 省治)



加藤塾学術大会

「超高齢社会に対応する総義歯」

平成29年10月22日に加藤武彦先生と田中五郎先生と歯科技工士の山本洋一先生をお招きし、大仙市のグランドパレス川端において、加藤塾の総義歯研究会東北支部学術大会が行われました。

加藤塾とは、横浜で開業されている加藤武彦先生が主宰する「全国訪問歯科研究会」のことで、その全国大会が年1回各地で開催されています。その中で健康寿命を長くするためには「使える義歯」が重要であることが何度も指摘されていますが、その作製方法などの技術的なことについては会の中で深く触れられることが少なくなくなってきておりました。そこで義歯作製の技術的な部分を学ぶ場として、5年ほど前に加藤塾の分科会として横浜で立ち上がった会が総義歯研究会です。内容は会員発表と参加者同士のディスカッションが中心で、それに対して講師の先生からアドバイスを頂く形で開催されております。

この会が好評で関東支部・関西支部・九州支部・北海道支部・北陸支部(富山支部)・東海支部と各地区で支部が発足しております。そのような流れの中で昨年東北支部を立ち上げることとなり、10月に第1回の学術大会を開催しました。

当日は歯科医師9人と歯科技工士9人が参加しました。午前中は講師の先生方に講演をいただき、午後は会員の症例発表とディスカッションを行いました。具体的な症例にアドバイスと解説が入るのでとてもわかりやすく面白い会になりました。今年は第2回も予定しておりますのでご参加をお待ちしております。

今年の6月10日に仙台のTKPガーデンシティ仙台勾当台にて加藤武彦先生、田中五郎先生のデンチャースペース義歯のセミナーがあります。こちらもぜひ参加してみてください。衝撃を受けること間違いなしです。(佐々木 順也)

第140回 種苗交換会

第140回秋田県種苗交換会が10月31日から11月6日まで、由利本荘市総合体育館をメイン会場として実施され、本会も例年通り歯科技工フェアを開催しました。

10月29日の搬入作業は、冷たい雨の降る中でしたが、我々が活動した11月3日と11月5日の両日は寒い日ではあったものの、天気には恵まれたのは幸運でした。

当初は人員確保に不安を感じておりましたが、当日になり遠方の会員やかつて会員だった方も、多忙の中、都合をつけて駆けつけてくださり、1日目は人員9名で29個、2日目は10名で33個のお子さんの手型を製作でき、全て手渡すことができました。

他にも技工物展示、石膏人形のプレゼント、簡単な歯科相談といったいつもの作業を行いました。さらに、今回はリサイクルのための旧義歯回収も受け付けましたが、市の広報誌や秋歯技HPに載せていただいたものの、急だっ

たためPR不足でほぼ集まらなかったのは、反省点の一つでもあります。

細かな点では、搬入の前に備品の点検や清掃をしてくれた会員がいたおかげで、その場で慌てることもありませんでしたし、同じ保育園に通うごどもご家族に、手型製作の案内をしてくれた会員もおり、それぞれ見えないところで頑張ってくれたその気持ちにはとても嬉しかったです。

県の行事とはいえ、開催地域の管轄支部である本荘由利支部の面々や、関わってくださった会員はもちろん、事情があつて参加できなかった方々や事務局の大きなサポートにも、無事に終えられたことを感謝いたします。お疲れ様でした。

今後も、技工フェアは続いていくのですが、またその時には会員の皆さんのご協力を賜われましたら幸いです。

私も、また石膏人形作りをコツコツと始めようかと思えます。

(渡辺 倫史)



種苗交換会

歯科技工フェア



動物園

大森山動物園

6月4日に大森山動物園で歯科技工フェアを開催しました。毎年動物園の「春の動物ふれあいフェスティバル」開催日に実施していますが、5回目の今回、初めて悪天候に見舞われ、フェスティバルともども午前で中止になってしまいました。

場所は昨年と同じふれあいコーナー周辺でしたが、激しい風雨にもかかわらず、歯科相談コーナー、フラッシング指導、手型採取にそれぞれ8名の方が訪れてくれました。

今回は、大量のてるてる坊主を作り、晴天になるべく願掛けをしようかと思っております。

この活動にご協力いただいた、歯科医師会・歯科衛生士会の皆様や会員の皆様に御礼申し上げます。

(酒樹 栄)

東北ブロック秋田会議開催

平成29年9月30日午後1時から、アルバートホテル秋田にて第59回東北ブロック会議が行われました。今回は、秋田が担当でしたが、会長とGマーク担当者を中心に、規模を小さくして実施しました。

日技の杉岡範明会長と岩澤毅常務も参加され、活発な議論が交わされました。

・Gマークについて
各県技で、平成30年度総会に諮



り会員の承認を得ることと現在の検討委員会を実行委員会に昇格させ、具体的な内容を煮詰めることが決議された。

・メール会員について

Gマークを会員限定のものにしないために、未入会者に対しても様々な情報を発信していくための方策として、メール会員制度が検討された。

歯科医師会との懇談会

去る1月27日、秋田市にて秋田県歯科医師会との懇談会が開かれました。歯科医師会からは藤原会長はじめ副会長、専務理事等計8名、本会からは会長、両副会長、専務理事等計6名が出席しました。今年の議題は、歯科医師会提出分が、

① 歯科技工士の初任給の目安について

※Gマーク実行委員より報告

Gマークとは補綴物の安心・安全を患者さんにアピールするマークです。歯科技工士の地位向上と歯科技工士の会員の増加を目的に、東北ブロック会議福島大会で提案された事実です。山形大会で検討委員が立ち上がり、昨年の秋田でのブロック会議で大筋がまとまり、実行委員が立ち上がって今年の青森での

ブロック会議でスタートになるべく具体的に動き始めました。

ですが、昨年11月、日技会長懇談会において、ほぼ同じ内容の事業が厚生労働省の予算によつて行われることが発表されました。そのため、話し合いの結果、誠に残念ですがGマーク事業は中止することで話し合いがまとまりました。

今後の話し合いで復活の可能性もありますが、現時点では温かい目で見守っていただきます。

(佐々木 順也)

② 技工料金表について
本会提出分が、

③ 歯科補綴物製作過程等の情報提供推進事業について

④ 無届の歯科技工所における歯科技工の防止について

⑤ 歯科診療所における歯科技工士数減少に関する兆候と歯科技工状況の現状把握

であり、上記項目について活発な意見交換が行われました。

また、今年は懇談会に歯科衛生

士会の会長等3名の役員が参加され、議題とは別に災害時における三歯会の協力体制の確認作業も行いました。

懇親会の席では、本会の行事やボランティア活動に衛生士会の方々も一緒に活動して交流を深められれば、との話が出ました。

今後も、三会一緒に発展していきたいよう、努めて参りたいと思います。

献血ボランティアの報告



去る2月4日(日)、10時から16時まで、イオンモール大曲において恒例となりました献血ボランティアを行いました。

冬の献血者減となるこの時期ですが、この活動のおかげで献血協力者が増えていると、赤十字の担当者に喜ばれています。

今年は大雪と寒波が影響してか、来店客もそれほど多くは無い中で、会員の呼びかけにより例年並みの受付申込者があったと感謝



(佐藤 仁)

されました。

会員参加者は6名と少なめでしたが、献血受付者45名の内、42名の方が400ml献血をしてくださいました。

今回の献血ボランティアのマスクットは、県の「スギツチ」が昨年11月で退職してしまつたため、赤十字の「ブラッドマン」のみで頑張りました。

今後も会員皆様のボランティア活動への参加協力をお願いいたします。

日本赤十字社 秋田県支部に寄付を しました

昨年も行いましたが、日本赤十字社秋田県支部から活動資金のための寄付の依頼があり、理事会で検討した結果、できる限り協力しよう、との結論になり、昨年9月に2万円寄付いたしました。皆様からお預かりした貴重な会費の一部を今後とも継続して遣わせていただきます。

払込金受領書		銀行専用
受取人	日本赤十字社秋田県支部	
	秋田銀行 本店 普通	516274
	北部銀行 本店 普通	305373
金額	¥20,000	
送附人	(法人名) 一般社団法人 秋田県歯科技工士会 〒019-2411 秋田県大仙市盛和城字境 26 今野歯科技工所内 TEL-FAX 018-892-2447 TEL ()	
手数料	手数料無料	文書扱
		29. 8. 26

会員動向

◆新入会者

- ・青山 公平さん
- 【中央支部】2017年2月入会
- 勤務先：・わしや歯科医院
- ・照井 久美子さん
- 【県南支部】2017年8月入会
- 勤務先：・TKデンタル
- ラボラトリー

◆出産

- ・小野 拓也さん【本荘由利支部】
- お子さんの名前：・弥月ちゃん

※会員・会員の妻が出産された場合、日技からもお祝い金がいただけます。
(一子につき2万円)
申請は事務局まで！
お忘れなく!!

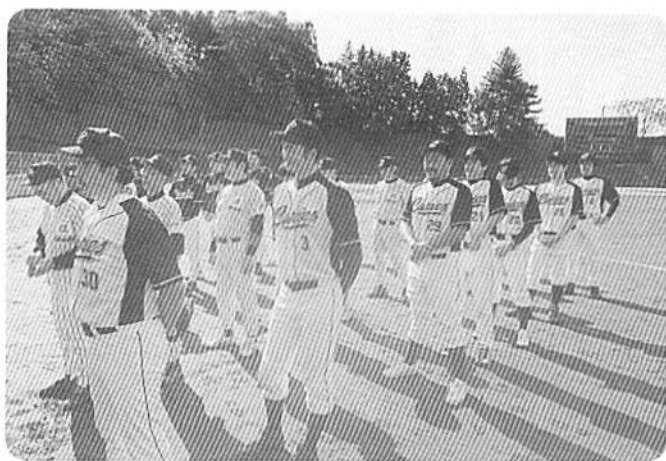
◆お悔やみ

- ・高橋 昭夫さん【県南支部】
 - (2017年2月)
 - ・小玉 敏博さん【中央支部】
 - (2017年6月)
 - ・小野 弥生さん【本荘由利支部】
 - (2017年8月)
- ご冥福をお祈りいたします。

北東北野球大会

2017年10月8日、今年も技工士会北東北野球大会開催。さてその結末はいかに。

：その一週間ほど前、我々は朝露で煌びやかに光る芝生の上にて、皆最高の結果を目指し練習を開始した。毎年のことではあるが、今年には深刻な人手不足に拍車がか



かり、未経験者が一人、入部参加を余儀なくされたが、類まれな身体能力と我々経験者の親身な指導により素晴らしいケミストリーが生まれ、その日のうちに獣のような豪快なスイングを手に入れた。我々も忘れかけていた感覚と、普段は眠らせている「野球」をする為の身体を呼び起こす。決戦の日

は近い、さあいざ参ろう。

岩手県、当日は大会を祝福するかのような晴天、秋も深まり朝の8時には日差しが程よく照りはじめた。朝露で煌びやかに光る芝生の上で：とはいかず。夜中の豪雨によりグラウンド状態は最悪。セカンド positioning 後方、外野 positioning と、幾年も幾年も何試合もの歴史が刻まれ、それと共に土、芝がすり減ってきた「歴史の跡」に昨夜の雨水が溢れる。これを千切れ千切れのスポンジを皆で探し出し搾り取る、まずはこの、まるで高校生活

を振り返るかなのような地獄の光景からのスタート、準備は整った、さあ！いざ参ろう。

初戦は、宿敵青森。敵は早くもエースを投入。あえて例えるならば、田中将大ばりの2シームを操るクールガイ、吠えはせずとも熱き闘志をもつ者VSならばこちらもエース投入！練習には参加せずとも抜群の安定感を誇る者。試合開始エース同士の投げ合いは両者一歩も譲らず。しかし試合展開はバッター2巡目から一変することとなる。

この日熱き闘志をもつ者は調子が安定せず、素晴らしい変化球と投球術ではあるものの、何球かに1球変化しない2シームが混じっていた、それを我は見逃してはいなかった。落ちきらず高めに浮いた球を捉え、天高く上がった打球は勢い止まらずそのままライトスタンド上段へ突き刺さる。さあ反撃の狼煙はいま上がった、皆の者、さあいざ参ろう！

その後は意地でギアを上げてきた熱き闘志をもつ者を打ち崩すま

ではいかなかったが、エースカズ選手の抜群の好投が光り、勝利をおさめる。皆も徐々に調子を上げ、岩手戦に備えた。

岩手戦。我には不安材料があった。投球する左の人差し指だ。二週間ほど前に不慮の事故により負傷した指は腫れ、爪の色は漆黒へと変わっていた。ただそのときは痛みはあるが気にするほどではない：と何度も言い聞かせた。その小さな蟻りがあんな結果を引き起こし、そして自分はこの35年間で野球のほんのごく一端にすら触れていなかったのではと気づかされることとなる。腫れと痛みで制球は定まらず、相手は親善試合とは思えぬほど嘲笑いながら待球作戦を仕掛けてくる、回を追うごとに失点は重なり、C佐々木選手の胸板も赤く腫れていった。痛みで意図せずストライクゾーンに入った棒球は、死体を蹴られるがごとく相手に痛打され、私の指と心は碎け散った。3B佐々木監督の顔など恐ろしくて見られず、なんとなく悲痛な感じでアピって、後は内



野の名手SS佐藤選手に頭を下げ
てマウンドを託す。申し訳ない気
持ちの中、満塁でショートを守り
につくも、これほどまでに守備位
置によって難解さが違うのかと痛
感させられ、もうただ立ち尽くす
しかなかった。我が与えた点数が
多すぎた時点で終戦だったが、反
比例するかのようにはバッティング
は好調、安打量産、ガチ天才。後
半皆の助けと連打が爆発し、追いつ
かないほどの反撃ではあった
が、気持ちは多少なりとも盛り返
した。新入り寺島選手も練習の甲
斐あり安打量産、チーム内MVP
受賞、ガチ天才。



で、結果はっぴょ
〜 準 優 勝 ドンっ！
のちの懇親会、この指が正常の
状態ではなかった為のあの投球の
せいで、我がチーム監督キャプテ
ンが他県2チームに頭を下げに
行ったの言うまでもない。
あれから早数ヶ月、そう指が完
治した今ならば：次回大戦に向け
て参ろうぞ、さあいざっ！
(戸嶋 賢)

ボウリング大会

昨年7月2日(日)、秋田市の
ラウンド1でボウリング大会が開
催されました。会員のみならずご
家族や職場仲間なども参加くださ
り、21名で大いに盛り上がりまし
た。

今回の目玉賞品は、ニンテ
ンドースイッチ!!この賞品狙いで、
仕事を休んでまで参加されたご家
族がいました。その気合いは鬼
果たして結果は...?



ボウリング

賞品		支部名	
商品カタログ	中 央	三浦英人さん家族	
ニンテンドースイッチ	県 南	佐々木順也さん家族	
ドライプレコーダー	県 南	佐々木順也さん	
ふわとろかき氷器	中 央	三浦淳子さん	
エスプレッソメーカー	県 南	西宮知里さん	
ビールギフト	中 央	酒樹栄さん	
CoCo 志カレーセット	県 南	西宮知里さん家族	
フルーツギフト	県 南	佐々木順也さん関係者	
さくらんぼ (佐藤錦)	中 央	三浦淳子さん家族	
高級納豆セット	本 庄	真坂嘉徳さん家族	
会長賞 (リーダー探知機)	県 南	佐々木順也さん家族	
ユーキデンタル賞 (焼き鳥缶詰・営業用)	県 南	佐々木順也さん家族	

【中央支部】

新年明けましておめでとうござ
います。

それでは、2017年の中央支
部の活動を報告させていただきます。

まず8月6日いつもの浜田浜で
BBQを行いました。今回は20名
ほどの参加で天気にも恵まれ高級
肉と生ビールで大盛り上がりの一
日でした。

次に12月2日これまたいつもの
山王焼肉わかばで忘年会を行いま
した。今回は参加人数が14人と少
なかったのですがお酒やらビンゴ
ゲームで楽しいひとときを過ごし
ました。

来年度は中央支部の役員改選で
新たな支部長に交代を予定してお
ります。

新支部長の下でニュー中央支部
にご協力をよろしくお願い致しま
す。

(佐々木 秀行)

【県南支部】

明けましておめでとうございま
す。県南支部の平成29年の活動の
ご報告をいたします。

1月21日に横手のゆうゆうブラ
ザで恒例の新年会を行いました。
新年会の前に湯沢市で開業されて
いる菅医院の院長、菅康徳先生に
1時間ほどご講演をいただき、講
師を交えて宴会を行いました。

2月4日は県の事業である献血
ボランティアが大曲イオンショッ
ピングセンターで行われました。
会場が大曲であるため県南支部で
協力をしました。

5月には県南支部の総会を行
いました。

7月1日には、湯沢市の特別養
護老人ホーム健寿苑にて、湯沢雄
勝歯科医師会との共同事業で義歯
ネーム入れを行いました。ネーム
入れ終了後は歯科医師会
の先生方との懇親会が行
われ、美味しいお肉をい
ただきました。

10月8・9日に県南支
部の十和田湖方面に研修

旅行を行いました。

支部の活動にご理解とご協力誠
にありがとうございます。

本年も県南支部をよろしくお願

いします。

(佐々木 順也)

【能代山本支部】

平成29年度の支部行事の初めと
して、7月22日にレクリエーショ
ンを行いました。毎年能代で行わ
れる「港祭り能代の花火」を鑑賞
しました。朝の予報では大雨洪水
警報が出ていましたが、夕方には
嘘のように晴れ上がり会員夫婦、
子供計13名の参加で、大変盛り上
がりました。

8月20日には、山本郡八峰町の
「特別養護老人ホーム海光苑」へ
入れ歯ケース100個、入れ歯洗浄剤
4箱を贈呈しました。岡本施設長
から「前にいただいた時も入居者
の皆さんからも好評で、今回も大
切に使わせていただきます」と感
謝されました。洗浄剤の話に代表
で受け取ったおじいさんが口元か
ら義歯を取り出し、係員の人に「今
洗うのでないよ!」の声に皆で大
笑いしました。

今年、皆様のご協力を頂きお
陰様で支部結成20周年を迎えるこ



だより





とができました。それを記念し10月22日に研修会を開催しました。講師に遊亀裕一先生を迎え、「目指せ咬合調整の少ないクラウン」をテーマに講演していただきました。ほとんどの技工士が経験しているとありますが、製作したクラ



ウンが咬合調整により隆線が無くなるほど削られてなぜだろうと思うことがあります。いろいろな方向から問題点を考え、歯科医師の咬合調整が微調整で終わるように歯科技工士として注意すべきことを講演して頂きました。

今後も多くの方に参加してもらえるような事業・環境づくりに努力していきたいと思えます。

支 部

(栗山 省平)

【本荘由利支部】

昨年、様々な行事に積極的に協力してくだ

さった小野弥生さんが、若くして逝去されるという、とても悲しいことがありました。弥生さんのご冥福を、会員一同、心よりお祈りするとともに、癒しの雰囲気をつなぐ素敵な女性会員がいたことを、忘れずにいたいと思えます。

さて、昨年の本荘由利支部では種苗交換会の準備と運営という大仕事はあったものの、来年度開催予定の支部設立20周年に向けて、活動を抑えていた感があります。が、いよいよ年明け早々、研修会やボランティア活動、祝賀会等、内容によっては秋歯技や他団体のご協力を仰ぐ場合もあるかと思えます。10周年のときのように盛大にはできないかとは思いますが、どのような周年行事にできるか、まずは支部内で本格的に動き始めたいと思っております。歳を重ねるごとに時間の流れが

早く感じられ、気がつけばもう新年を迎えてしまいました。

社会的には嫌なニュースが目立ち、アベノミクスの恩恵とやらも地方の末端にはほど遠いような平成29年だった気もしますが、今年は皆様にとって幸の多い一年でありますよう、お祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

(渡辺 倫史)



選挙告示

任期満了に伴う平成30年度役員改選の時期を迎え、選挙規定第3条及び8条による選挙管理委員会の設置を1月13日開催の理事会において決定しましたので、ご連絡いたします。また、役員候補の推薦を選挙規定に基づきお願い申し上げます。

* 推薦候補者の締切日

平成30年4月27日(金)

* 選挙予定日

平成30年5月27日(日)

通常総会時

* 立候補届出先

県技事務局又は選挙管理委員
まで

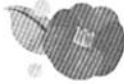
委員長
委員

佐藤 仁
今野 恵豊

藤盛 正伸

飯坂 俊哉

鈴木 精



事務局より

- ☆勤務者から自営者になられた方
- ☆自営者の方で廃業された方
- ☆現住所、勤務先などが変更になった方
→必ず事務局にご連絡ください。
- ☆自営者の方へ！



…事業所会費の納入対象時期が変更になります!!

2017年6月17日開催の日技社員総会において、事業所会費納入対象者の変更期日が改定されました。詳細は下表の通りです。
なお、事業所会費の納入対象者は、歯科技工所開設者です。

	第1期	第2期	第3期	第4期
変更届提出日	1月～3月 提出分	4月～6月 提出分	7月～9月 提出分	10月～12月 提出分
変更月	4月度分 会費～	7月度分 会費～	10月度分 会費～	翌年1月度分 会費～

※事業所会費額は、個人事業者 月1,200円、法人事業者 月2,500円 です。
※変更のご連絡は、事務局までお早めにお問い合わせいたします。

(一社) 秋田県歯科技工士会 事務局

〒019-2411 大仙市協和境字境26番地 電話・FAX 018-892-2447

E-mail : akisigi@ceres.ocn.ne.jp

ホームページ : <http://www.akisigi.com/> (HP担当 : 県南支部 荒川大祐さん)